

## 民商の拡大・強化で安倍暴走政治にストップを!

全商連地方別決起集会上に東海4県で270人が参加 -



安倍政権は、昨年、10月1日の消費税率引上げ決定に続き、秘密保護法の強行採決、年金や生活保護切捨てなど国民の声を無視して次々と悪政を強行しました。

そして、いよいよ4月からは消費税率の引き上げが強行されます。4月実施に向けて大きな声で引上げ反対を訴えつつ、10%~15%への引上げは絶対に許さない世論を作っていく事、この春に特に求められています。

その最大の力が、商工新聞読者と会員の拡大です。この1月から出足早く取り組めるように、全商連主催の地方別決起集会在1月5日名古屋で開催され県連・単位民商の会長・事務局長はじめ、共済理事長、婦人部長、青年部長、拡大推進委員長など270名が参加、名古屋南からも10名が参加し、三浦副会長が決意表明(写真)をされました。

## 店がもてる 790万融資が実現しました

道德豊田支部 胡宏 (52歳)



「やっと念願の店がもてる」と語るのは、胡宏(ごこう・52歳)さん。胡さんは、道德豊田支部会員の森利恵さんが経営する中華店の元従業員。日頃から「中国料理店を持ちたい」と森さんに相談をしていました。開業相談なら「民商に入会したら」と紹

介。名古屋信用保証協会では「言葉の壁がある」と断られ、民商と一緒に銀行や名古屋市新事業支援センターで融資の窓口や創業補助金について調べました。次に日本政策金融公庫の生活衛生融資の申し込みのために「保健所」、「愛知県生活衛生営業指導センター」で「新創業融資制度申込紹介書」と「推せん書」をもらい政策金融公庫へ申込みました。日本語があまり喋れない胡さんの為に、中国語がわかる森さんの異例の同席を要求し審査に臨みました。しかし、これも断りの電話が入りました。12月に入り「私にはもう店はない」と胡さん。「諦めず最後まで頑張ろう」と、励まし、こんどは名古屋小規模事業金融公社に相談

にいき、なんとか保証人も立て申込みをおこないました。夢が近づいた 胡さんは「日本国内にほとんどいない特級調理師を持つていることもあり、ご要望に応じて宮廷料理も提供できる」、「18年、日本で調理師として働いていたので日本人好みの料理もできる」、「開業したい店舗裏に中国物産があり、土、日は集客が見込まれる」など一生懸命アピールしました。その結果、12月27日に公社から「790万円の融資で入ります」と電話が入り、胡さんは喜びの年始を迎えることができました。



1月5日、名駅ナナちゃん人形付近で愛婦協「新春消費増税中止を求める署名宣伝行動」が行われ33人の役員、事務局が参加。名古屋南民商から6人が参加しました。

「どこかで増税反対の意思表示をしたかった」と語る方もいて、80人分の署名が集まりました。

## ナナちゃんも圧倒! 消費増税中止 県婦協署名宣伝行動! 33人参加



「増税への怒りに闘うぞ! 決意にあふれた宣伝行動(参加者)」



名古屋南民商婦人部のお店

「知って得! 来て得! 継続した震災支援を!」と愛知県商工団体連合会婦人部協議会

## 得々々フェスタ400人の参加

(愛婦協)が第3回「得々々フェスタ」を12月22日、名古屋市千種区吹上の中小企業振興会館で開催しました。今年のが出展し、400人以上が訪れました。

名古屋南民商婦人部も20人以上の役員らが集まり健康や介護の相談コーナー、飲食、小物販売など多彩な分野で参加しました。初めて参加した「いも幸」さんや「寿司正」さんの商品の前には行列が出来た場面もあり、どちらも完売しました。